

2022年8月8日

各位

株式会社北洋銀行

## 一般社団法人木古内公益振興社様の『SDGs宣言』策定を支援しました！

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGsへの取り組みを支援するため「SDGs宣言サポート」を提供しています。今般、「道の駅 みそぎの郷きこない」を運営する一般社団法人木古内公益振興社様(北海道上磯郡木古内町、代表理事 北島 孝雄様)が本サポートを利用し『SDGs宣言』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

### 1.会社概要

会社名	一般社団法人 木古内公益振興社
所在地	上磯郡木古内町字本町338番地14
代表者	代表理事 北島 孝雄
業種	小売業

### 2.重点項目



※SDGs宣言の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。  
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。



# 道の駅 みそぎの郷きこない SDGs宣言

当法人は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、  
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年8月8日  
一般社団法人 木古内公益振興社  
代表理事 北島 孝雄

## SDGsの達成に向けた取組

### 地域魅力発信拠点としての地域貢献

北の玄関口である地元木古内町および道南西部9町の地域活性化、全国への魅力発信拠点として地域振興を行い、持続可能な社会創成を行って参ります。

【具体的な取り組み】

- ・地元産品を使用した土産商品の開発
- ・観光活性化のため観光マップ作成
- ・小中学生へお土産ショップの職業体験提供
- ・交流の場、広報の場として道の駅広場の提供
- ・地元高校生等のアルバイト積極採用
- ・みそぎ浜清掃活動



### 限りある資源の利用、フードロス削減による環境への配慮

地域全体でフードロス削減に取り組む活動を、当社が中心となり積極的に推進することで、持続的な地域社会へ貢献して参ります。

【具体的な取り組み】

- ・在庫管理の徹底（消費・賞味期限管理による陳列工夫の実施）
- ・ロスやハネ品の積極的な有効活用（商品開発等）
- ・包装パッケージの脱プラへの取組推進
- ・「もったいないからはじめよう」をキャッチフレーズに省エネの推進（施設内照明の節電、冷凍庫の定期的なメンテナンス等）



### 職員ひとりひとりに合った職場づくりと人材育成

男女や年齢関係なく職員間のコミュニケーションを積極的に図れる職場環境を構築すると共に、職員それぞれが個性を生かせるようにサポートして参ります。

【具体的な取り組み】

- ・個性や能力に合わせた人材配置
- ・意見交換ノートによる職員間のコミュニケーションツールを設定
- ・オンライン法人会等主催のスキルアップ研修
- ・多様な職員に対応するフレキシブルな勤務体系の対応



### 防災拠点機能の向上

地域交流の場だけでなく、防災拠点としての機能及び体制を整備することも、「道の駅」の重要な役割として、災害時に備えた取り組みを進めて参ります。

【具体的な取り組み】

- ・災害時の避難施設として提供（非常用電源設置、発電、冷凍庫の利用提供）
- ・定期的な火災訓練と人命救助講習の受講
- ・AED設置



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

